「常総ふれあいの杜」広報誌No.44 2019年秋号（季刊）

ふれあい通信

社会福祉法人
日本キングス・ガーデン

常総広域障害者支援施設
『常総ふれあいの杜』
常総市大生郷町1880番地
Tel0297-27-5016
Fax0297-27-5045
www.kings-garden.or.jp
発行責任者藤原裕也
編集員広報委員会

川越キングス・ガーデンに学ぶ

理事長兼総合施設長　宇都宮和子

十月十五日、川越キングス・ガーデンを訪問、水は引いていましたが、天井まで水位が上がり、水害の怖さを覚えました。

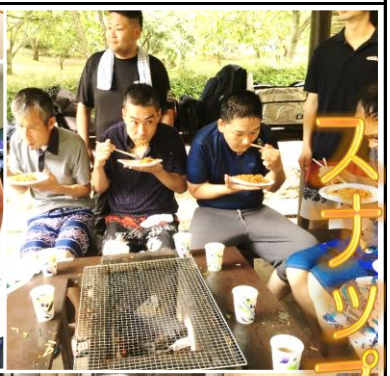
その厳しさの中で、ご利用者さん全員を無事、移動できたことは本当に奇跡で改めて日頃のスタッフの訓練の素晴らしさが身にしみました。

十六日には、部屋のゴミも業者さんやボランティアの方々の協力で綺麗に運ばれたとのこと。

施設長を中心に、職員が笑顔で対応、その姿にこちらまで励まされました。

ご利用者さんが戻るまでには、まだ多くの時間を必要としますが私達もこれからも人的支援とか義援金の両面から支えて行きたいと祈っています。

川越キングス・ガーデンFBより



スナップフォト

雨もあがったサマー・フェス！

（山崎真奈美）

毎年恒例、アロハシャツを身にまとい、夏のイベントが今年もやってきました。

ステージではゲストの皆様のフラダンスや、演奏等が披露されました。ご利用者は耳を傾けながらも、かき氷や焼きそば等屋台での食べ物を、美味しそうに食べていたのが、微笑ましかったです。

日も暮れて、心地良い風が吹く中、姉弟デュオ「レインボーミュージック」のお二人の素敵な歌声がステージから響きわたりました。歌の後は、みんなで夜空を見上げ、花火を見ながら歓声に沸いていました。

お腹も満たされ、楽しい時間を過ごせたご利用者の表情……印象的でした。一人ひとりの笑顔が、

神達市長、熱唱！

※ボランティアに感謝します。喫茶／須田晶子様、砂長幸子様、高橋和子様、中山小夜子様、藤田敏子様

初の試み「アートコラボ展」

（生井弘美）

今年は、初めてグループホームの「ハレルヤセンター」、守谷市障がい者福祉センター「ひこうせん」との三施設合同の展示会「アートコラボ展」を約一ヶ月間、開催しました。各施設から、選りすぐりの作品を展示し、多くの方々に観ていただく事が出来ました。ふれあいの杜では、来年のオリンピックに向けて、オリンピック競技の中から、七作品をちぎり絵で製作し、展示しました。

毎週土曜日の午後は、ミニステージを開催し、ご利用者と一緒に楽しいひと時を過ごす事が出来ました。今回、開催中に新聞社の取材を受け記事が掲載され、ご利用者の意欲を更に高める事が出来ました。

他の施設の方々の作品を、鑑賞して「来年もまた、ここで展示会ができるようにがんばろうね」と語り合いました。

展示会が終了し、早くも来年に向けて活気に溢れた活動をしています。

クラフト班のみんなの活躍に、乞う、ご期待。

めいっぱい楽しんだ川遊び・BBQ

（林芳道）

八月に、けやきユニット旅行で、埼玉のキャンプ場に、バーベキューと川遊びに行きました。雨が降りそうな予報で心配でしたが、キャンプ場に行ってみると、良く晴れて旅行日和でした。

全員、水着に着替えてから、ほぼ貸切状態で、川遊びをめいっぱい楽しみました。

たくさん遊んだ後、お昼はバーベキューでお肉などを、美味しくほお張りながら召し上がっていました。夏の雰囲気を感じながら、全員楽しく過ごせました。

飛行機たくさん成田航空博物館

（日暮誠）

外出してきました。昼食は寿司海鮮料理店にて、各自好きな物を選び、召し上がりました。ロースとビーフカツ丼、各種デザートなど、とても嬉しそうでした。

その後、成田航空科学博物館を見学し、展示物の見学や、五分お手を振り、飛び立つ飛行機に手を振り、とても楽しむ事が出来ました。

日本各地から大集合！KG連合研修会

（土田誠一）

九月二十八日、二十九日の二日間、KG連合研修会に参加しました。

その事例発表をする事になり、約十二年間の記録を振り返ったり、ご家族から、幼少期のエピソード等をお聞きする事で、その方が入所されてからの、前よりも、その方を知る事が出来ました。

より知る事が出来ると、その方をもっと身近に感じ、もっと好きになりました。

他の施設の事例発表を聞いた際に、その方に対する生活出来るのか、時には、みんなで考えました。

分科会で、どうすればその方の代弁者となり、みんなで、色々考えて、支援して、そして、笑顔で生活できる一番のやり甲斐、これが私たちの支援なんだなぁ」と改めて感じる事が出来ました。

大変な事も沢山あり上手くいかない事ますが、職員がみんなで力を合わせて、支援していけたらと思いました。

遊びの時間

（松浦恭佑）

▼誰しも遊びの時間が必要だと思いますが、ふれあいの杜では、ご利用者の方々に自由に開放した室内を提供したり、ハレルヤセンターでは、いろいろなレクリエーションを行ったりしています。

▼今後も毎日の生活に楽しくなるようなレクリエーションを提供できるよう日々考えていきたいと思います。

▼小さな取り組みが、日常生活の中で欠かせない事を未知の力を感じました。

▼動物と触れ合うことで、初めて見たり、乗ったりする事で、新たな発見をしたり、音楽に合わせて体を動かしたりと楽しそうでした。

▼最近、参加者の方々の足腰が弱くなってきたと感じる事があり、日常生活の中で、歩行器や車椅子を使用している方が多くなってきたと感じました。

▼日常生活の中で、歩行器や車椅子を使用している方が多くなってきたと感じました。

▼ふれあいの杜では、ご利用者の方々に自由に開放した室内を提供したり、ハレルヤセンターでは、いろいろなレクリエーションを行ったりしています。

▼今後も毎日の生活に楽しくなるようなレクリエーションを提供できるよう日々考えていきたいと思います。

編集後記✍／台風十五号や十九号で被災された方に、心よりお見舞い申し上げます。どうぞ一日も早い復興をお祈り致します。（岡田）